

令和4年度第3回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録

日時 令和4年6月22日(水) 14時00分～16時30分
場所 浜松キャンパス S-Port 3階大会議室
出席者 赤塚、岩崎、栗村、鳥居、野田(Web参加)、細井、望月、鈴木の各委員
日詰、塩尻、川田、森田、大場、川村、片田、池田、本橋の各委員
欠席者 出野、大須賀、加藤の各委員
陪席者 高倉、金原、近藤の各副学長、鈴木、河島の各監事

議事に先立ち、議長から、新たに就任した鈴木委員について紹介があり、鈴木委員から挨拶があった。

続いて議長から細井委員が今回をもって委員を退任される旨、報告があった。

I 前回議事録の承認

令和4年度第1回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録(案)、令和4年度第2回(メール審議)国立大学法人静岡大学経営協議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学の将来構想について

議長から、静岡大学の将来構想について、資料1-1により、令和4年4月27日～6月22日までの会議等の開催状況、資料1-2により、第42回静岡大学・浜松医科大学連携協議会(令和4年5月26日)について報告があり、意見交換を行った。続いて、森田委員より資料1-3より第2回静岡大学将来構想会議について報告があり、意見交換を行った。

資料1-1～1-2について

(委員から出された主な意見等/連携協議会関係)

望月委員：6月29日の浜松医科大学長との懇談後に両大学の統合・再編に向けた浜松市の協議会が予定されている。統合と再編のどちらをどのような順序で行っていくのかについてまず合意しないと先に進まないと考える。個人的には統合が先と考えるが、統合の合意を出せるような方向性をその協議会において示せるような打ち合わせを両大学で行っていただきたい。

議長：6月29日の浜松医科大学長との懇談において本件についても詰めていくことになると思う。

野田委員：懸念事項として両大学で静岡大学と浜松医科大学との合意事項を公表していく際に両大学間での表現に差が見られるのが懸念される。今後は公表文書等について事前に両大学でしっかりと確認を行ってから公表するようお願いしたい。

議長：基本的に両大学での合意事項については文章化して相互に確認するのが前提であると考えている。そのあたりは抜かりなくやっていきたい。

資料1-3について

(委員から出された主な意見等／第2回静岡大学将来構想会議関係)

岩崎委員：グローバル共創科学部（仮称）の目指すところは素晴らしいと思っている。ただ、何度か申し上げているが高校を卒業した18歳が対応できるのか、大学院レベルで対応するものではないかという懸念がある。

森田委員：文科省にもこの方向性で進めていく取り組みの重要性については理解されていると思う。具体的な進め方については本学としても試行錯誤の部分はある。具体的なカリキュラムについても設置審の認可との関係で今は出せないが、8月以降にカリキュラムマップ等をお示ししてご意見を伺いたい。

岩崎委員：理念は美しいけれども、それだけにならないよう気を付けていただきたい。

片田委員：現在設置申請中であるためお見せできないが、文科省とのやり取りの中でかなり詳細な部分まで詰めている。それらを見ていただければ具体的な部分についても納得いただけるものと考えている。今はお見せできないがお時間をいただければと思う。

岩崎委員：高校生の立場からすれば、この理念だけでは自分は何ができるのかという情報は見えない。ぜひその点についてはしっかりと対応願いたい。

細井委員：（仮称）地域連携プラットフォームについて、静岡市が前面に出てくるのは理解できるが、静岡市のためにやっているわけではないので、他の関係団体が新たに入ってくる前提を忘れないでこのワーキングを進めていただきたい。

先ほど現在設置申請中であるため外部には見せられないとのことだったが、この経営協議会は外部なのか、本来は経営協議会というものは設置申請といったものの内容をしっかり審議し協議する機関ではないのかという疑問がある。ほぼ決定された事に対して経営協議会の意見を伺うという姿勢ではなく、決定される前に外部の意見を取り入れながら整えていくための経営協議会という位置付けにしていいただきたい。

片田委員：誤解があった場合は申し訳ない。例えばカリキュラムはあまりにも細かいものであるため、それを経営協議会でお諮りするのはいかがでしょうかと考えていた。方向性については当然大所高所からご意見をいただくことは大事だと考えている。決まったことだけを経営協議会にお諮りしているつもりは全くない。

細井委員：むしろ細かいところを確認し議論していくのが経営協議会ではないかと考えている。

岩崎委員：我々は報告を聞きに来ているのではない。経営協議会の趣旨を間違えないでいただきたい。

片田委員：事前に経営協議会にお諮りすることとしたい。

また、（仮称）地域連携プラットフォームについては静岡市だけを対象としているということではない。全県的に広げていくためにもまずはここから決めさせていただきたい。

議長：細井委員、岩崎委員からご指摘があったように、今後はそういう方向で仕切り直しをしていきたい。

岩崎委員：静岡地区と浜松地区の流れがどのように融合するのか、その絵を描いてほしい。これが両大学の統合の姿ではないのかと考える。

静岡地区の目指すべきところのみで終わらぬようお願いしたい。

望月委員：統合再編の統合の中には静岡地区がしっかりとしたビジョンを描かないと成立しない。新学部がビジョンを描くひとつのきっかけになると思う。

浜松地区は医工連携がビジョンとなって、そこではじめて統合という形が具体化してきてビジョンが描くことができる。そのような絵を描いてもらわなければならない。まずは静岡地区がしっかりとしたビジョンを描くことが最も大事なことと考えている。

議長：そのあたりはまだ十分ではない部分もあるかもしれないが、今後詰められていくものと考えている。

鳥居委員：45頁の新学部名称の（仮称）はついているのが正しいのか。また、（仮称）が取れて正式な名称が発表される時期を教えてください。

森田委員：設置審で認められていないため現在は（仮称）がついている。

了承が得られれば8月下旬に（仮称）は取れる。

鳥居委員：新学部のための新しい施設等を要求するのか、それとも既存の施設を利用するのか。

森田委員：基本的には既存の空いたスペースを集め、纏った形で提供できるよう考えている。

鳥居委員：資料の中でセミナーを実施すると書かれているが、どれくらいの参加者があるのか。

森田委員：教育関係者、高校の教員等を対象に行う予定であるが、本件は本日の議題の最後の報告事項で説明させていただきたい。

野田委員：新学部では何が学べて、将来どのような職業に就けるのかを示す（学生がキャリアデザインを描けること）が、学生にとって重要なことあるので、高校、高校生を対象により学生向けのプロモーション方法をもっと考えたほうが良いのではないかと考えている。

議長：これから大学として本格的に考えていかなければならないと考えている。例えば新学部で学んだ後、どのような進路が拓けるのかといったところが鍵であり、そのあたりを上手く高校生へ伝えることが重要と考えている。そのために夏休みがひとつの重要な機会と捉えており、入試広報という観点から対応を考えたい。またご協力いただけるようであれば、ご相談させていただきたい。

野田委員：この新学部は統合再編の動きの中でも大きな転機になっていくのではと考えている。お手伝いできることがあればご協力したい。

森田委員：実際には各コースについて目指す職業（人材像）に対応した履修モデルを複数作成している。認可されれば、それに基づいて高校生に対し具体的に新学部のカリキュラムを十分に説明できるひとつの資料になると考えている。

鈴木委員：56 頁において I T 人材の育成という記載があるが I T という言葉は産業界ではほとんど使用しなくなっている。今後将来的に人材を育成していくのであれば D X が妥当ではないか。

また、将来性が見えないという委員からの意見があったが、産業界からプラットフォームに参画する企業が新学部の構想に関わっていることが見えることが、学生への応援となり、良いのではないか。

森田委員：その通りだと思う。また I T については委員からの質問を受けそのまま使用してしまった。

栗村委員：55 頁～57 頁あたりで今回の新学部を大学全体の教育改革に繋げていきたいと記載されているが、どのような取り組みを考えておられるのか教えていただきたい。

森田委員：例えば数理・データサイエンス教育をさらに充実させ、全学的に横展開させることを考えている。それにより特に大学全体への波及効果が期待できるところは、学部 1、2 年生の教養教育を充実させていく、ひとつの手段、コンテンツができていくところにあり、新しい教養科目と各学部の専門教育の組み合わせによって、従来とは違う新しい人材が育つことが期待できる。

栗村委員：それが既存の学部の学生も、新学部の学生も希望すれば新しい教養科目が受講できるというイメージなのか。

森田委員：最初からそこまではいけないが、新学部である程度の実績と成果が見えてきたところで大学全体へ横展開していきたい。

栗村委員：大学全体の仕組みとして考えていくということか。

森田委員：そう考えている。また、新しい教育コンテンツとして提供できるものと考えている。

赤塚委員：51 頁に地域創造学環募集停止とあるが外部には公表されているのか。

議長：公表している。

赤塚委員：すでに公表されているということであれば、先ほどのご意見にもあったとおり、経営協議会委員は報告のみ受けているという感想を持った。

議長：今後将来構想等いろいろな資料を提出する中でご意見を伺ったうえで方向性を決めていきたい。

2 第 4 期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の申請について

森田委員から、第 4 期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の申請について、資料 2 により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(委員から出された主な意見等)

鈴木委員：【8】について、人材の育成手段、海外からの人材招聘については記載すべきではないか。

森田委員：担当事務と相談し、追記できるものは対応していきたい。

野田委員：【27】の静大発ベンチャーについて、実績があるのはわかるが上場企業の輩出となると大変な内容に入っていくと思う。これに関して具体的な産学連携を含めた支援体制はどのようなイメージを持っているのか伺いたい。

川田委員：本学ではイノベーション連携推進機構を中心に、学生のアントンプレナーシップに取り組んでいる。名古屋大学を中心に東海地区の17大学がアントンプレナーシップ教育を実施するというプロジェクトも走っており、静岡大学も参画している。教員のベンチャー企業設立にはイノベーション連携推進機構のコーディネーター、特任教員がバックアップする形をとっている。

野田委員：現状としては理解したが、変えていく必要があるところも見受けられる。

3 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について

金原副学長から、第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 第3期中期目標期間の教育研究評価に係る中期目標の達成状況報告書について

金原副学長から、第3期中期目標期間の教育研究評価に係る中期目標の達成状況報告書について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 教職大学院認証評価自己評価書について

金原副学長から、教職大学院認証評価自己評価書について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 国立大学法人ガバナンス・コードの改訂及び国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等の報告(令和4年度)について

片田委員から、国立大学法人ガバナンス・コードの改訂及び国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等の報告(令和4年度)について、主に経営協議会部分の意見を聴取すべく、資料6により説明があった。

7 学長選考・監察会議委員の選出について

議長から、委員の退任に伴う学長選考・監察会議委員の選出について、概要説明があった。続いて片田委員から、席上配布資料により、業務、組織、任期、前回選考の経緯等の説明があった。

続いて片田委員から後任の委員の選出について、各界のバランスを考慮し鈴木委員を選出したい旨、提案があり、審議の結果、鈴木委員を選出し、併せて当該委員の承諾を得た。

最後に、議長から第2回学長選考・監察会議について本会議終了後に同会場で開催となる旨、案内があった。

8 機関別認証評価の「改善を要する事項」への対応状況について

金原副学長から、教職大学院認証評価自己評価書について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

- 1 令和3年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について
森田委員から、令和3年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について、資料8により報告があった。
- 2 令和5年度施設整備補助金概算要求について
片田委員から、令和5年度施設整備補助金概算要求について、資料9により報告があった。
- 3 令和3年度静岡大学の主な取組について
議長から、令和3年度静岡大学の主な取組について、資料10により報告があった。
- 4 令和3年度経営協議会学外委員からの意見等について
議長から、令和3年度経営協議会学外委員からの意見等について、資料11により報告があった。
- 5 令和3年度人事院勧告に伴う賞与の対応について
片田委員から、令和3年度人事院勧告に伴う賞与の対応について、資料12により報告があった。

Ⅳ その他

- 1 グローバル共創科学部（仮称）連続セミナーの実施について
池田委員より、グローバル共創科学部（仮称）連続セミナーの実施について、資料13により内容紹介と案内があった。
- 2 静岡大学関連記事
議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料として紹介があった。
- 3 議長から静岡大学概要2022について紹介があった。

議事終了後、議長から、今回をもって退任する委員の紹介があり、細井委員からの挨拶の後、議長から謝辞が述べられた。

以上